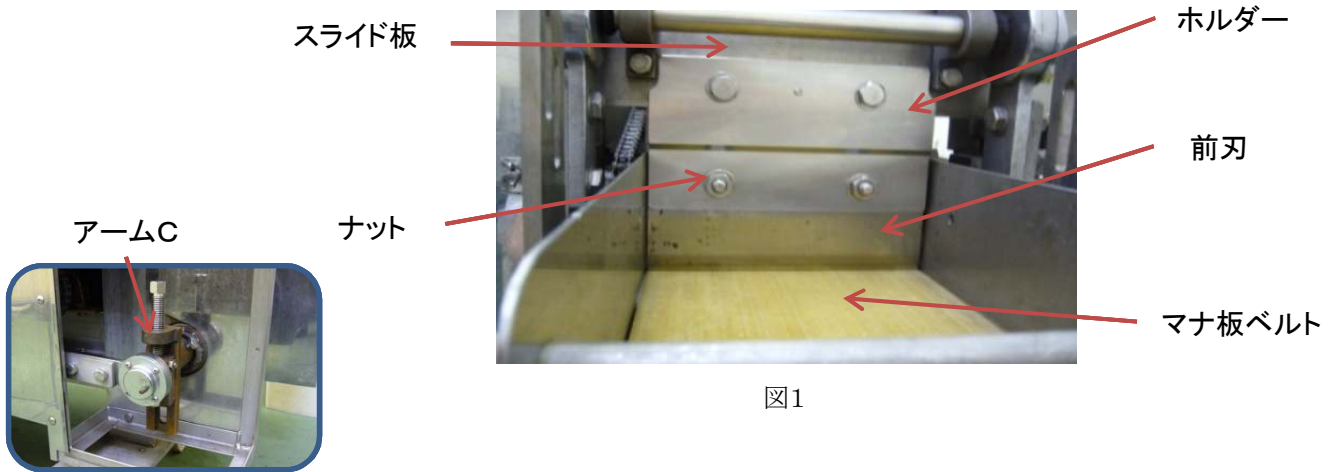


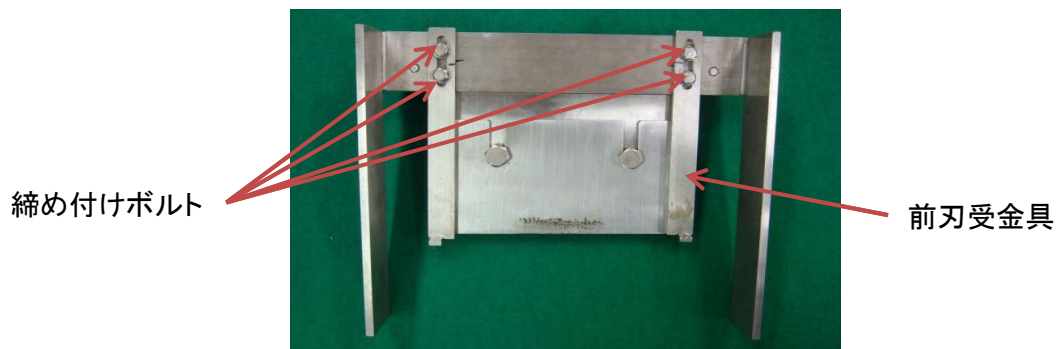
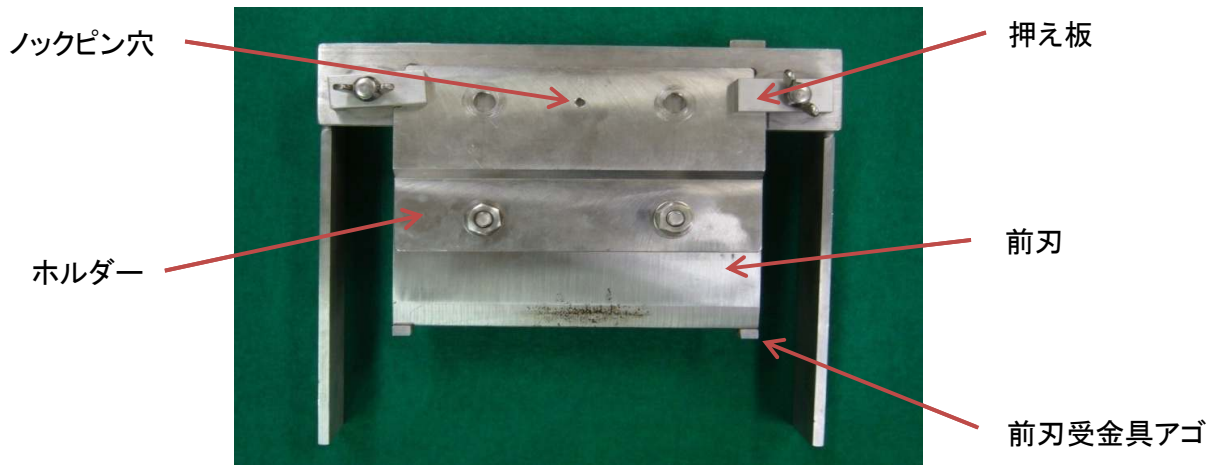
ゲージによる前刃の調整方法

手順 1、前刃をホルダーにつけた状態(ナットは仮締)で、機械本体に取り付けます。

手順 2、アームを手で回し、スライド板が真下にきたところで止め、ナットを緩めて刃先をマナ板ベルトに押し当てます。ナットを締め、前刃をホルダーごと機械から外します。



手順 3、ゲージを裏にして、あらかじめ「締め付けボルト」4か所を緩め「前刃受金具」をフリーにしておきます。(図4 裏) ゲージを表にし、ゲージのノックピンとホルダーのノックピン穴を合わせて押さえ板と蝶ネジで固定します。(図3 表)



手順 4、前刃とアゴの間に隙間ゲージなどを挟み、裏の締め付けボルト 4箇所を締めます。隙間は0.2mm～0.5mmほどです。左右均一に同様の作業をします。

※ 隙間ゲージがない場合はテレホンカードなどで対応して下さい。

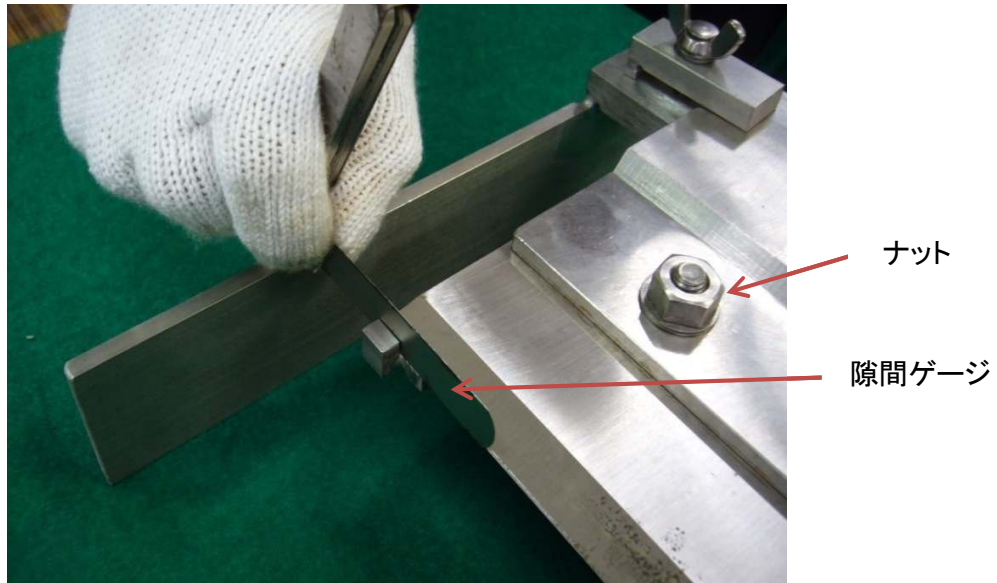


図5

図は200型裁断機用です

手順 5、ナットを緩め、前刃の先端をアゴに突き当てた後、ナットを締め付けてゲージから外します。

手順 6、機械に取り付け、試運転をします。スイッチを入れる前にアームCを手で回し、刃が下りすぎていないか、側板や口金に当たっていないか等を確認してください。

手順 7、裁断して、まだつながってしまう場合は再度同じ調整を行って下さい。

- ※ ※ 一度の調整で極端に刃物を下げてしまうと、マナ板ベルトを損傷させてしまいますので、少しずつ調整するようにお願いします。
- ※ ※ 通常の使用で原料が切れないでつながってしまう場合は、刃が切れる状態に研磨されているか確認してください。切れない状態であれば速やかに研磨するか、新しい刃物と交換して下さい。
- ※ ※ クシ刃・特殊クシ刃の調整も同様の手順です。

注意：刃物は危険ですので、取扱には十分注意して下さい